

分類	ご意見		町の考え方
計画に関すること	1	今後未来における町づくり計画については、創造性豊かな発想であり、藍住町の将来のあるべき姿かと思います。 老若男女、住みよい暮らしに基づいた幅広いアプローチ計画を的確に推進していただきたい。 協力のもとご支援します。 宜しく申し上げます。ありがとうございます。 内容も充実している。	藍住町老人福祉センター「藍翠苑」はクラブ活動等で年間1万人、藍住町勤労女性センターでは女性やこどものサークル活動、教養講座等で年間1万6千人以上の利用者があり、その年間利用者の多さはニーズを示す一つの指標であると考えています。 また、これまで活動が続けていた個人、団体等が引き続き活動を行うことができるよう各施設を定期的に利用されている団体等にもヒアリングを行いながら施設規模や必要な機能の検討を進めてきたところです。 新たな施設の整備に当たっては、これら施設の単なる複合化だけではなく、町民や来館者が自由に集える空間を中心に据え、世代や属性を超えた交流を促進する仕掛けを柔軟に展開することにより、「あつまる」「つながる」「ひろがる」環境を整え、まちづくりの基礎となる人材やアイデアを育み、町や地域に関わる人々を増やし育てていきたいと考えています。
	2	二つの施設が老朽化していることと、耐震性がないことは分かりましたが、引き続き二つの施設が必要な状況にあるのかどうかの検討はどのようになされましたか？（現状の利用率や利用者のニーズ等）。「大規模改修等の対策が急務」であることの根拠を教えてください。 また、「町民の幸せや、町のにぎわいを創出」するためには、町民のニーズを把握するための対話や、意見交換などで得る必要があるかと思いますが、いつありましたか？なかったとすれば、「新たな施設」の整備によってそれを得られるという根拠を教えてください。	
	3	（p3）公共施設等の総合管理の推進では、今日的なニーズに対応するための用途変更、施設の廃止・集約とあり、ニーズを把握する必要があることは明確ですが、今回の計画については、どのようにニーズを把握されましたか？	
	4	（p10.11）交流支援、もしくは交流促進などの表記がありますが、具体的には何を指しますか？どんな方々がその業務にあたりますか？この新しい施設の要になる部分だと思いますが、どのような支援や促進活動について、どのようなニーズがどれぐらいあったために、この施設が必要かの根拠になる部分だと思いますので、具体的に明記いただかないと分かりません。	
	5	（p18）事業スケジュールをみると、住民説明会が一切ありませんが、なぜですか？設定してください。	
	6	今回の案について、とにかく今日の住民のニーズをどのように把握したのかをなにより聞きたいです。 まだ具体的ではない部分も多く、進めるべき整備とは思えません。 耐震性がなく危ない建物なら、まずは解体に向けて進みながら、図書館や武道館、体育館についても含めて住民の意見を聞く時間が先に必要です。 目的を共有するところからお願いします。	
	7	②住民説明会等の未実施について バーベキューエリア整備の際と同様、近隣住民への説明会、また関連、関係団体へのヒアリング、有識者や住民参加による審議会や提言などの機会が一切なく、億単位の予算がかかる箱物の建設計画案が突然浮上し、パブリックコメントも住民の意見を反映させる場としてではなく、行政の手続き上行っているだけのようになり住民の目からは見える。いつ頃から、どのような経緯でこの計画案が持ち上がり、誰のどのような意見を参考にしてこの計画案を作成したのか明示していただきたい。	
時期に関すること	8	（p1）第5次藍住町総合計画（平成28年3月）とありますが、この計画は10年前のもので、現在新たな総合計画を策定しているのではないですか？今年はじっくりと町民からのニーズ聞き取りに時間をかけ、工事は解体工事のみにとどめ、新たな総合計画に現状を踏まえて、整備事業を盛り込むことはできませんか？32億円も使って、10年前の計画を急ぐ必要があるとは思えません。	老朽化による建て替えや耐震化が必要な施設であることから、できるだけ早く事業を進める必要があると考えています。
	9	④新たな施設を建設するタイミングについて 今年は藍住町長選挙が11月に控えている。老朽化による建て替えや耐震化が必要な施設があるとはいえ、大型事業の事業者選定を令和7年4月～10月に行う必要がある理由を説明していただきたい。	
環境配慮に関すること	10	（p15）ア 省エネルギー について 国の目標は2030年に 46%減（50%の高みを目指す）であり、また、県内においても県をはじめ脱炭素宣言をしている自治体が1/4あります。この新しい施設は2028年の竣工予定であり、その後もカーボンニュートラルを達成した（しているであろう）藍住町にあり続ける建築物です。 ZEB Readyでは目標が低すぎます。Nearly ZEB 以上を求めます。現在、毎年度どこかの施設に遅まきながら、太陽光発電を後から設置している状況ですね。 これからの建築物には、最初から太陽光発電設置すべきです。美しい川辺も、気候変動への正しい緩和策をとらなければ、失われます。必ず、太陽光発電を設置してください。 また、脱炭素や環境保全性、経済性に配慮した熱源、エネルギー等を採用する。とありますが、具体的に教えてください。（再エネ100%電源を使用するのか？しないのなら最低でもどれくらいの排出係数の電力会社を選ぶのかなど）	太陽光発電設備も含め再生可能エネルギーが有効活用できるような施設や設備の導入を目指してまいります。

分類	ご意見		町の考え方
新施設に関すること	11	藍住町世代間交流施設を新築することは、旧施設の老朽化から考えると賛成ですが、町立体育館のような壁に瓦(模様)を使用するような設計は止めてほしいです。理由としては建築費及びメンテナンス費の増加に繋がると思うからです。町税の無駄遣いは止めて教育費や介護保険料に遣って欲しいです。	いただきましたご意見は今後の設計内容の検討や運営方針の検討の参考にさせていただきます。
	12	詳細は分かりませんが、世代間交流施設で、子供から、お年寄りまで自由に使えるスペースがあるのは素晴らしいと思います。 また私たち自治会の集会をする時、サークルの会をする時、文化ホールを借りていますが、もう少し安くかつ気軽に借りられる所はないかと思っています。ぜひともそのような安く借りられる部屋を作って欲しいと思います。	
	13	・施設について 町役場や体育館のような外観重視ではなく、見た目は普通、中に入ると老人や幼児が快適に利用できる施設に、手洗い場やトイレの場所が複数ある設計にしていきたい。	
	14	・川辺テラス・オープンスペースについて 正法寺川は、長く眺めてお茶が飲めるような綺麗な川ではないと思う。施設の外に、テーブルや椅子を設置するのは維持管理が難しく老朽化も早い。 大きなガラス窓は明るく開放的だが、台風や地震のことも考え、長く綺麗に使えて頑丈さをプラスした窓にしてほしい。	
	15	○地域住民や自治体が主体とするコミュニティ食堂を定期的に開催できるような場としても考えて頂きたいです。(※平日の夕食)として、子どもや保護者、シニアの方も含めた、地域の皆さんの交流の場として食堂キッチンスペース、テラス席やフリースペースなどを利用。孤食や貧困対策のほか、地域の繋りの場として機能していることで災害時などにもスムーズな連携なども期待できるかもしれません。 帰りが遅い会社員や家事をする時間のない家族などが集まって食事をとることで町に対しての信頼感にも期待し、住民参加型のまちづくりを目的としています。	
	16	○美馬市地域交流センター「ミライズ」、丸亀市市民交流活動センター「マルタス」等を参考に、藍住町立図書館とは少し差をつけた若い世代に向けた豊富な書籍を揃えて欲しい。心地良く読書が楽しめるカフェテラスでの空間や、お話し会や学習と併用出来る偏りのないスペースを期待しています。 役場6階ステップに手を加え、充実したランチ、喫茶が出来るような空間として引っ越しなどはどうでしょうか。	
	17	・設計事務所で、複合施設、公園、ホテルなどの建築に関わっている東京の会社で、●●●●●【事業所名】。このような会社に相談してみてもどうでしょうか？今の時代、人が集まるには何か仕掛けが必要だと思います。単に施設を作るのではなく、あそこが作ったのなら行ってみようと思うくらいの建物が必要。建築好きは全世界にいますので、あの施設があるなら藍住に行ってみよう、私たちの町にはこんな施設があるよと、胸を張って言えるようなものにして欲しい。	
	18	1. はじめに 近年、地方における人口減少と高齢化が深刻化し、地域コミュニティの衰退が懸念されています。単にコミュニティの「場」を用意するだけで地方創生が進まない例も多く見かけます。このような状況を踏まえ、当施設内に、多世代が共に学び、交流できる場として、コワーキング・コラーニング施設の設置を提案いたします。本提案は、世代間の交流を促進し、地域活性化、多様な学習機会の提供、起業・創業の支援、地域課題の解決に貢献することを目指しています。 2. 背景と課題 地方創生において「世代間の交流やコミュニティの形成を促し、賑わいを創出する」ことや「コミュニティ活動を支援し、町民の主体的なまちづくりを促進する」という考えは非常に重要です。これらは地域の活性化に寄与し、住民のつながりを深めることで、地域のアイデンティティや文化を育む基盤となります。 しかし、単に賑わいを創出するだけでは、地方の価値創造には限界があります。持続可能な発展を目指すためには、以下のような要素も考慮する必要があります。 教育とスキルの向上 地域の人々が新しいスキルを学び、成長できる機会を提供することが、長期的な価値創造につながります。特に若い世代に対する教育や職業訓練は重要です。 経済的な持続可能性	

分類	ご意見		町の考え方
新施設に関すること (続き)	18 (続き)	地域の特産品やサービスを活かしたビジネスモデルの構築が求められます。観光や地元産業の振興を通じて、経済的な基盤を強化することが重要です。 特に「教育とスキルの向上」について、藍住町は人口規模が大きい割に他の自治体に比べて施策が見劣りします。まず、この課題を解決するための施設がありません。 また、今後の少子化社会においては「高レベルのITスキル」を持った人財の育成と、それらが活躍する企業が不可欠です。税収アップや雇用促進も見込めるでしょう。 3. 提案内容 多世代交流型コワーキング・コラーニング施設は、以下の機能を備えた複合施設として整備します。 • コワーキングスペース: 若者や移住者、地域住民が自由に利用できるワークスペースを提供します。 • コラーニングスペース: 多様な世代が共に学び、交流できる学習スペースを提供します。 • 交流スペース: イベントやワークショップ、休憩などに利用できるオープンスペースを設けます。 4. 期待される効果 本施設の設置により、以下の効果が期待できます。 1. 世代間の交流促進: 多世代が同じ空間で学び、働くことで、自然な形で交流が生まれます。異なる世代の知識や経験を共有し、互いに刺激し合うことで、新たな発想やイノベーションが生まれる可能性も高まります。 2. 地域活性化: 若者や移住者を呼び込むことで、地域の活性化に繋がります。また、地域住民が気軽に利用できる場を提供することで、地域コミュニティの活性化にも貢献します。 3. 多様な学習機会の提供: 多様な世代のニーズに応じた学習プログラムを提供することで、地域全体の学習意欲を高めます。高齢者の生涯学習、子どもの放課後学習、ビジネススキルアップなど、幅広いニーズに対応できます。 4. 起業・創業の支援: コワーキングスペースとして活用することで、地域での起業・創業を支援します。若者のチャレンジを後押しし、地域経済の活性化に繋がります。 5. 地域課題の解決: 地域課題に関するワークショップやセミナーを開催することで、地域住民が主体的に課題解決に取り組む力を育みます。 5. 施設運営のポイント • 多様な世代のニーズを把握: 事前に地域住民へのアンケートやヒアリングを実施し、各世代のニーズを把握することが重要です。 • 交流を促進する空間設計: オープンスペースや交流スペースを設け、世代間の交流を促す空間設計が求められます。 • 多様な学習プログラムの提供: 各世代のニーズに応じた学習プログラムを提供する必要があります。オンライン学習コンテンツの活用も有効です。 • 専門家・講師の育成: 各分野の専門家や講師を育成し、質の高い学習プログラムを提供できる体制を整える必要があります。 • 地域との連携: 地域企業や大学、NPOなどと連携し、地域資源を活用したプログラムを開発することも重要です。 • 持続可能な運営体制: 利用料金の設定や運営費の確保など、持続可能な運営体制を構築する必要があります。 6. 提案の実現可能性 どのような運営体制にするか、ソフトウェア面がポイントになります。 理想的な参考例：https://●●●●●●【事業所URL】 ここまでの規模は難しいかもしれませんが、小規模であれば似たようなことは可能と考えます。 スマホ認証による電子オートロックで無人化とセキュリティ対策も可能です。 これらに関する助言やサポート、コワーキング・コラーニング利用経験者へのヒアリング等、当方でお力添えさせていただくことも可能です。 7. まとめ 多世代交流型コワーキング・コラーニング施設は、地方創生における学びの拠点として、地域に新たな価値を生み出す可能性を秘めています。本施設の設置により、世代間の交流を促進し、地域活性化、多様な学習機会の提供、起業・創業の支援、地域課題の解決に貢献できると確信しております。 長々と申し訳ございません。最後までお読みいただき、ありがとうございます。 本提案をご検討いただき、共に地方創生に向けて取り組んでいただけることを切に願っております。	

分類	ご意見		町の考え方
機能集約に関すること	19	① 基本計画（案）6ページ 第2現状と課題において 2公共施設の課題と現状 藍翠園の老朽化、勤労女性センターの耐震化については、藍住町総合文化ホール建設の際に、機能集約の議論が議論できたのではないかと思います。また現在、総合文化ホールの中にある社会福祉協議会も、新たな施設に集約される計画になっているが、社会福祉協議会が抜けたあとの文化ホールのスペースは一体何に活用されるのか明示していただきたい。 また、文化ホールの2階にある社会福祉協議会は新たな施設に移動するが、1階藍住町保健センター、藍住町地域包括支援センターが移動の対象から外れている理由も合わせて明示していただきたい。	現在、窓口が分かれているこども家庭センター（合同庁舎2階・総合文化ホール1階）を、総合文化ホール2階に集約すること等を検討しています。
藍住町老人福祉センター「藍翠苑」の跡地に関すること	20	・バラ園について 遠方からバラ園に来てくれた人は、その狭さに驚くことが多いように思う。維持管理をしてくださっている方は大変だと思うが、藍翠苑の跡地をバラ園にして、バラ園を広げてほしい。駐車場は周りに沢山ある。	藍翠苑の跡地については、今後の設計業務においてより良い活用法を検討してまいります。
藍住町勤労女性センターの跡地に関すること	21	③ 女性勤労センターの跡地の活用について 勤労女性センターの解体工事一式の予算は計上されているが、その跡地はどうするのか明示していただきたい。	周辺施設の来館者用駐車場として活用すること等を検討しています。
防犯対策に関すること	22	① 公共施設の近くに住む者として、困っていることは、夜間の騒音です。特に夏ですが、朝まで声が聞こえ、時々バイクで走り回る。また冬でも夜間にラッパー？が大きな声で歌うとか、青少年健全育成の面と騒音による不眠で2重の問題があると思います。防犯カメラの更なる設置、また警察による夜間の見回りとかなんらか対処してほしいと思っています。	防犯カメラの設置や警察への定期的な巡視の依頼などにより、防犯・安全管理の強化に努めてまいります。
	23	・駐車場について 夜間に駐車場で事故や事件が起きないよう、防犯カメラの設置をお願いしたい。	
みどり橋に関すること	24	・みどり橋について みどり橋はこれから三年以上も使用できないのか？それではみどり橋は施設を繋ぐだけの役割でしかない。今まで橋を利用して健康維持やお花見などをして楽しんでいた人も多いと思う。交流施設整備事業と一体化するのではなく、少しでも早いかけ替えをお願いします。	新たな橋については、新施設、バラ園、正法寺川公園、総合文化ホール等を繋ぐ回遊動線の一部として一体的に整備する方針としております。工事区域も新施設と隣接していることから、一体的に整備することで効率的に施工できるものと考えております。
前面道路に関すること	25	新しい施設ができることへの期待と、家の前に人や車が増えることへの不安を感じています。	事業区域に隣接する道路については、本事業内で拡幅を予定しています。
	26	・南へ抜ける車が多くなると思うので対向出来る道幅が必要と思われる。	
関係団体に関すること	27	私は花友会で活動しています。施設が新しく成る事は大変喜ばしく思っています。今後どの程度の活動場所が残るのか、心配しています。ボランティアの仲間も年を取りいつまで活動が続けられるのか不安もあります。 要望として ①建物の近くで倉庫（道具入れ、電源、屋根付の休憩所） ②いつ頃花壇の取り壊しが始まるのか？植物の仮置きは出来るのか？ ③蓋のあるコンポストも置きたいです。 ワガママなお願いですが宜しくお願いします	施設の整備に当たっては、引き続き関係団体等と協議をしながら配置計画等を検討してまいります。
周辺施設に関すること	28	・せっかく良い河川敷があるので、ユメタウン迄整備を行い、ランニング・ウォーキング・散歩道に活用出来る様に！	新施設、バラ園、正法寺川公園、総合文化ホール等を繋ぐ回遊動線を確保し、安心・安全に通行できるよう、整備内容を検討してまいります。 いただきましたご意見は今後のイベント企画や周辺施設等の整備の参考にさせていただきます。
	29	・河川に沿って桜を植えて名所になって頂きたいです。	
	30	・文化ホールの芝生広場で開催するイベントと相乗効果が起こるように、川沿いの遊歩道を活用し、新施設へと移動しやすい導線を作り、夏は遊歩道でビアガーデン、冬はクリスマスマーケットの開催をする。今ある桜並木はそのまま、バラ園はかなりテコ入れが必要であると感じます。	
	31	正法寺川を挟んで北側と南側、更には庁舎、藍住町民体育館の広域においての行き来を高架遊歩道で繋ぎ、現在の横断歩道を渡るリスク回避は考えるべき。 人の移動と自動車の移動を分け、事故発生率を下げる工夫にも目を向けるべき。高齢者、キッズに安心安全の配慮をするならば移動動線は別にすると良い。車社会の藍住町において遊歩道には屋根をつけて傘いらずにするとよい。車は1度駐車したあと、各施設に歩いていくような仕組みにして、運動をすることを自動的に取り入れられ、健康増進にも寄与できる。	

分類	ご意見		町の考え方
交通手段に関すること	32	(p 3) 地域の拠点とありますが、高齢の方へのこの拠点までの交通手段の確保はできますか？	町では、町内に居住する高齢者の外出を支援し、普段からの移動に地域公共交通を活用する意識の醸成を図ることを目的として、「ノリ乗りタクシー券事業」を実施しています。 引き続き、より良い高齢者の移動支援に関する事業を検討してまいります。
正法寺川に関すること	33	正法寺川の淵の整備でイラストでは川を眺めながら椅子に座っている人がいて、くつろいでいますが、いまの正法寺川の水の汚さではこのような風景はありえないと思いますが、どうですか？ 河川の浄化をしてからする事ではありませんか？ 施設の老朽化を考えると必要な計画ではあるかと思いますが、予算的に考えると計画よりも最終的には大きく増えるのが今までの実績から見えています。また今年は町長選挙もあり、こんな時期に計画発表する事にどういう事だと言う人もいます。 あらぬ思いを町民にいだかせる事になろうかと思います。	町では、徳島県が策定している「正法寺川流域水管理行動計画」に基づき、県や地域住民、地域活動団体と協働して「治水対策」「水循環及び環境創造」「水教育推進」の取組を進めています。 引き続き、県や地域住民、地域活動団体と協働して、正法寺川流域における水管理の取組を進めてまいります。
	34	② ごみ、木の管理、落ち葉や虫対策 今までも様々な問題を提起して対処していただきお世話になっております。シルバーの方が一生懸命に清掃してくれていますが、ごみは風に吹かれ田んぼや用水へ、やがて川へ。正法寺川みどり橋の下の川がせき止められている所には、トレイをはじめ、あらゆるものが流れてきて、浮かんでいます。ボランティアの人たちが定期的に清掃してくださっていますが、追いつかない。公園の中を流れる川がこのような状態では、悲しすぎると思います。 私も微力ですが、田んぼのごみを拾ったり、正法寺のトレイを拾っていますが追いつきません。施設、公園を作ることは大切なことですが、施設はもちろんですが公園なども、その後のメンテナンス、管理にたくさんの労力とお金がかかることも計算にいれて作って欲しいと思います。	
	35	・正法寺川が汚れている理由を突き詰めて、どうすればキレイになるかを考え、新施設がこの川を最大限活用できるように希望します。みどり橋のたもとに老朽化したポンプ小屋があるので、昔していたようにそこ利活用し、正法寺川の地下から水をポンプアップし、災害時でも平時でもその水を活用する。	

※ご意見について、項目ごとに整理し、意見の内容に関わらない部分を除き原文のまま掲載しています。ただし、誤字、脱字等がある場合は、表現を修正しています。

※ご意見の中に、団体名等の固有名を記載いただいているものがありましたが、その部分については伏せ字としています。